

【別紙1】

| 令和6年度生命(いのち)の安全教育 報告書 | | | | |
|---|--|-----------------|-------------|-------------|
| 園名・学校名 長崎県立島原特別支援学校小学部 | | | | |
| 実施日 | 令和6年7月3日(水)10:45 ~ 11:30 (45分) | | | |
| 場 所 | 本校自立活動室 | | | |
| 講 師 | 教諭 野原嘉泉 講師 江川博子 | | | |
| 形 態 | 授業(教科:特別活動) ・講話 ・職員研修等(職員対象) ・その他() | | | |
| 参加者 | 幼児・児童生徒 学年(全学年) (46)人 | 園・学校職員 (28)人 | 保護者 ()人 | その他 ()人 |
| テーマ | 「いいな！」の木(自己尊重・個性尊重) | | | |
| 内 容 | 内容(具体的に) ① 絵本『いいな「じぶん」!』の読み聞かせを聞く。※大型テレビ+マイク使用 ・本を通して世界中の一人一人に「いいな」があることを伝える。 ② クラスの友達の好きな所を書いて、木の絵に貼り付けた掲示物「いいな!の木」をクラス毎に発表し、全体共有する。 ③ 自己尊重の歌「私と小鳥と鈴と」を動画の曲に合わせ、全員で円になって手をつなぎ歌う。 ④ 集会終了後も各クラスが作成した、「いいな!の木」を終業式まで掲示する。 <引用素材> ・『いいな「じぶん」!』(作:くすのきしげのり 絵:こばようこ 出版社:世界文化社) ・私と小鳥と鈴と(金子みすゞ) NHK にほんごであそぼう うた | | | |
| <成果や幼児・児童生徒の行動変容等> ・内面に訴え掛ける内容であったが、「いいね」という言葉が、実施後も高学年の子供たちから聞かれた。得意なこと、不得意なことはそれぞれ違うけど、みんな大切な自分(個)なんだよということを伝えることができた。また、『「いいな!」の木』の制作を通して、学級レベルで友達の良い所(長所)を考えたりそれを伝えたりする時間がとれたことが一番の成果であった。 | | | | |
| <今後の課題と自校(園)の取組等> ・本校小学部では今年から3年周期で、「友達」⇒「自己・他者尊重」⇒「命」のテーマで人権教育を進めていくことにしている。ただ、実態に差がある知的障害のある児童にとって、学年でそれぞれテーマが違った方が良いのかが今後の検討課題である。 ・県教委発行の「人権教育をすすめるために」を参考にしていきたいが、LGBTQ に関わることの教え方が難しい。 ・プライベートゾーンなどを分かりやすく教えていくことは可能であるが、男女トイレやお風呂の問題をどう知的障害の子供たちに伝えていけばいいのか? | | | | |

<当日の様子> * 授業の様子等を必ず画像で添付してください。



◎行が足りない場合は、適宜行を追加していただいて構いません。提出は、データをお願いします。

※報告書は、県児童生徒支援課HP(実施校全て)に掲載します。画像は、生徒個人が特定できないように配慮してください。